

近畿大学・次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING、Support for Pioneering Research Initiated by the Next Generation) 令和7年度採択者対象の説明会

博士後期課程学生支援プロジェクト(近畿大学SPRINGプロジェクト)名

実学教育と総合大学の強みを活かした 社会実装思考型の博士人材育成プログラム

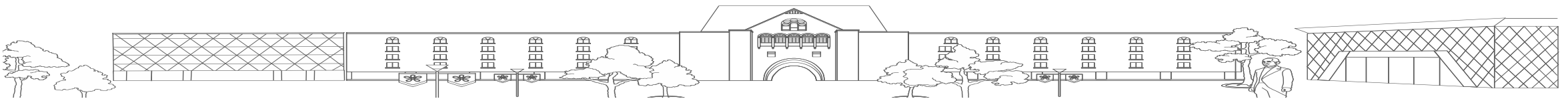
近畿大学SPRING事業統括
大学院改革推進委員会委員長
大学院部長 教授・松本和也

※注意： 博士後期課程学生は、博士課程(4年制)の学生を含めた表記

事業統括により**選抜された優秀な博士後期課程学生は**、所属元の変更などのポータビリティを担保した上で**自身の自由で挑戦的・融合的な研究に専念**し、あわせて当該博士後期課程学生に対しては、**生活費相当額及び研究費の支給**されるとともに、**キャリア開発・育成コンテンツ**(国際性の涵養、学際性の涵養、キャリア開発、トランスファラブルスキルの習得、インターンシップ等)**を提供**される。



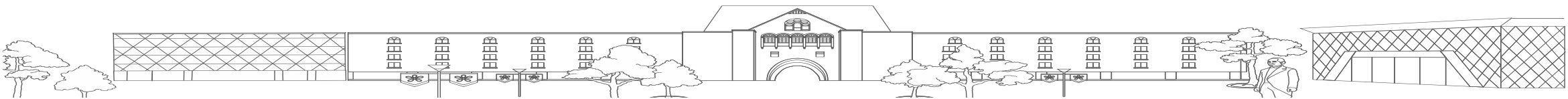
支給される生活費相当額及び研究費(年間254万円)は、
近畿大学の経費から支出されるのではなく、国の税金から支出される



(1)JST・次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)とは

(2)近畿大学SPRINGプロジェクトについて

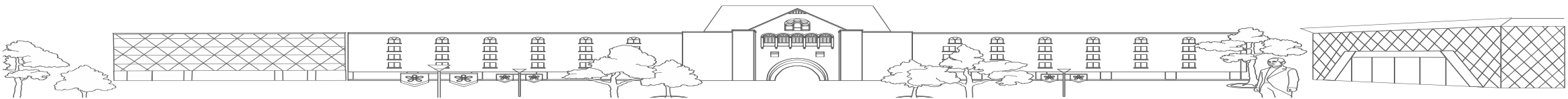
- ①選抜学生:研究奨励費等の受給及び義務の履行
- ②選抜学生が受講するキャリア開発・育成コンテンツ



(1) JST・次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)とは

(2) 近畿大学SPRINGプロジェクトについて

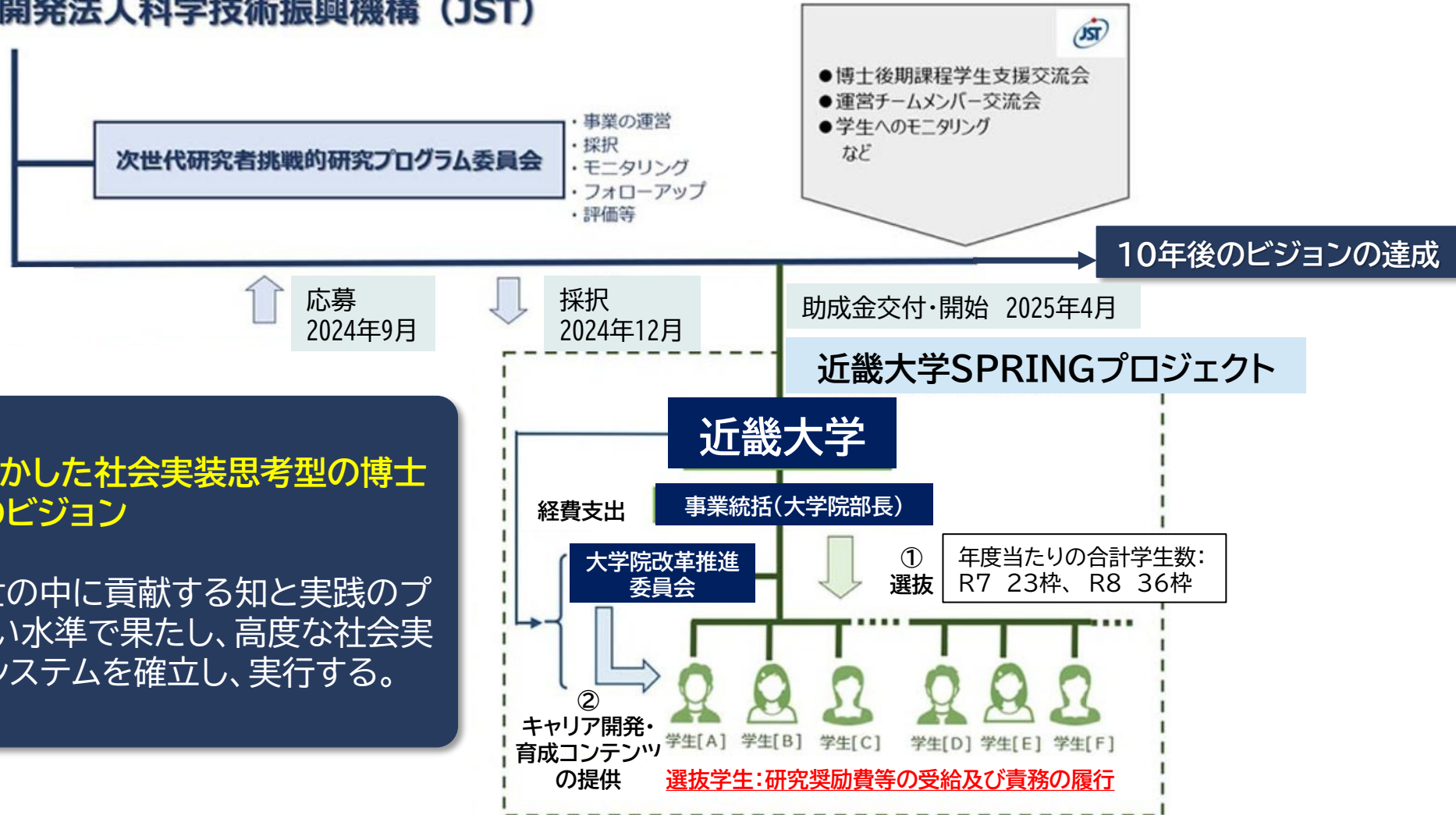
- ① 選抜学生：研究奨励費等の受給及び義務の履行
- ② 選抜学生が受講するキャリア開発・育成コンテンツ



(2)近畿大学SPRINGプロジェクトについて

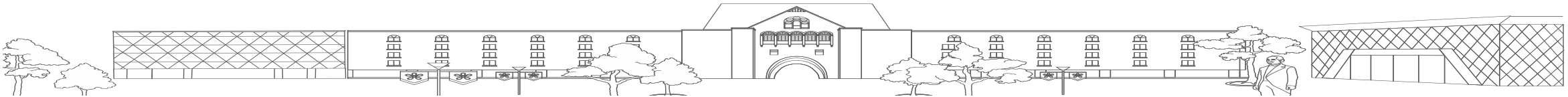
プロジェクトの全体概要

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）



近畿大学SPRINGプロジェクト
「実学教育と総合大学の強みを活かした社会実装思考型の博士人材育成プログラム」の10年後のビジョン

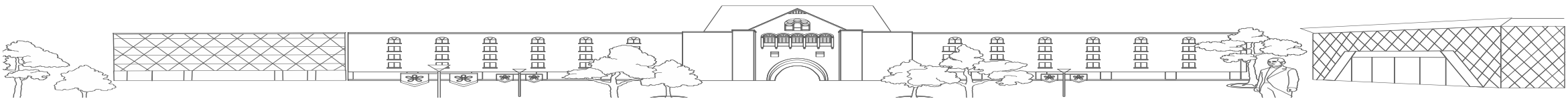
地域創生から国際社会まで広く世の中に貢献する知と実践のプロフェSSIONナルの養成機能を高い水準で果たし、高度な社会実装思考型の博士人材を輩出するシステムを確立し、実行する。



(1)JST・次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)とは

(2)近畿大学SPRINGプロジェクトについて

- ①選抜学生:研究奨励費等の受給及び責務の履行
- ②選抜学生が受講するキャリア開発・育成コンテンツ

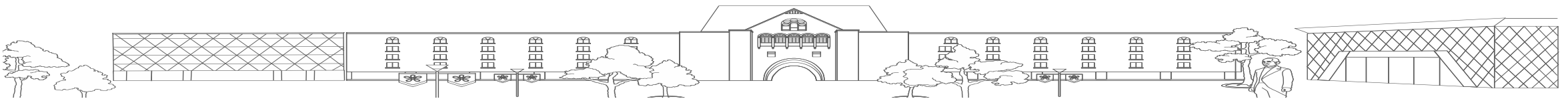


(1)JST・次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)とは

(2)近畿大学SPRINGプロジェクトについて

①選抜学生:研究奨励費等の受給及び責務の履行

②選抜学生が受講するキャリア開発・育成コンテンツ



(2)近畿大学SPRINGプロジェクトについて

①選抜学生:研究奨励費等の受給及び責務

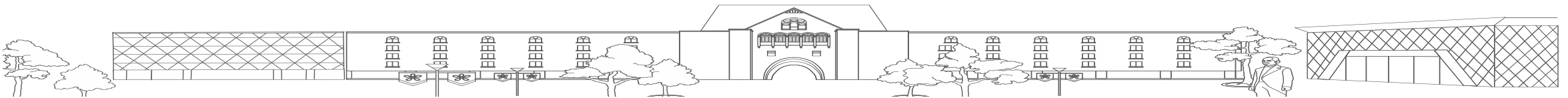
選抜学生の研究奨励費等の受給

・研究奨励費(生活費相当額):年額204万円(17万円×12か月)と研究費:年額50万円の支援

※研究費支援の独自性・妥当性:選抜学生には、本学独自の研究プラットフォーム「研究クラスター・コア」に関連する社会課題の解決に挑戦する研究提案(トランスファラブルスキル養成の観点から、研究費の予算計画を含み、社会実装までをイメージした研究)に対して、研究費を支援する。

選抜学生の責務

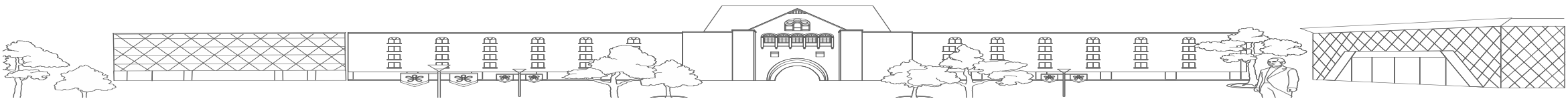
- (1) キャリア開発・育成コンテンツのうち必須と指定されたものを受講すること。
- (2) 指導教員・副指導教員の指導を受けること。
- (3) 年度末又は修了時に活動報告書を提出すること。
- (4) 研究倫理研修(eAPRIN)を受講すること。
- (5) 日本学術振興会(JSPS)特別研究員(DC)へ応募すること(ただし、申請資格がない場合を除く。)
- (6) ジョブ型研究インターンシップ事業のマッチング専用システムへ登録してアカウントを作成すること。
- (7) 文部科学省科学技術・学術政策研究所(NISTEP)が運営する博士人材データベース(JGRAD)に登録すること。
- (8) JST が実施する学生へのモニタリング調査に協力すること。
- (9) プログラムの対象者について行われる調査に協力すること。
- (10) 修了後10 年間、本学が実施する追跡調査に協力すること。
- (11) 第6 条第4項(対象学生の氏名は、プログラム透明性確保のため、決定から修了又は資格喪失の10 年後まで本学WEB サイトで公表するものとし、当該公表について同意することを募集に応募するための要件とする。)に基づく公表に同意すること。



(1)JST・次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)とは

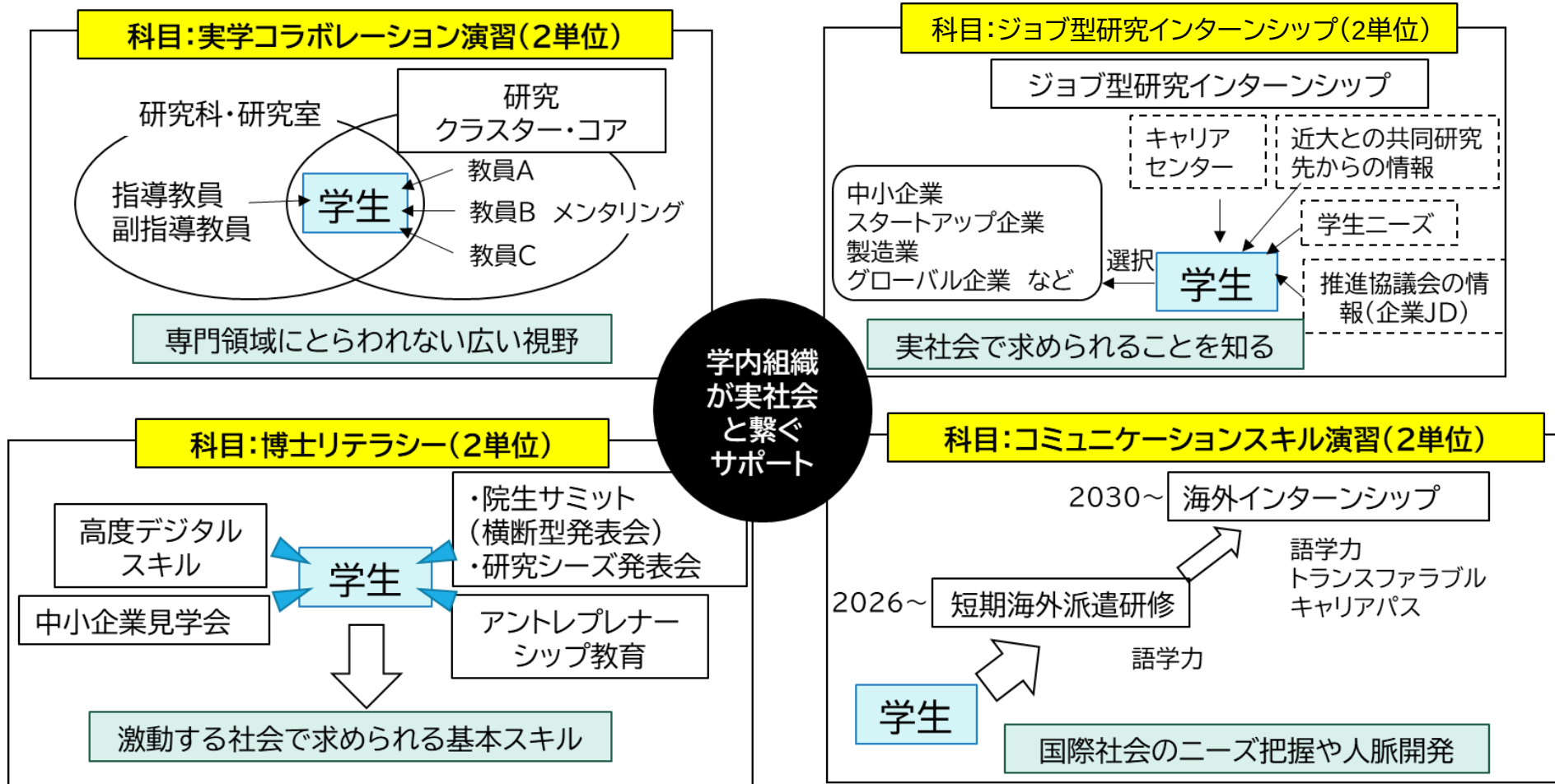
(2)近畿大学SPRINGプロジェクトについて

- ①選抜学生:研究奨励費等の受給及び責務の履行
- ②選抜学生が受講するキャリア開発・育成コンテンツ



(2)近畿大学SPRINGプロジェクトについて

②選抜学生が受講するキャリア開発・育成コンテンツの特徴1



本プロジェクトを構成する4つの科目が実社会で活躍する学生を産み出す

(2)近畿大学SPRINGプロジェクトについて

②選抜学生が受講するキャリア開発・育成コンテンツの特徴2

コンピテンシー

コンテンツ

語学力

トランスフェラブルスキル
(汎用的能力)

研究力

キャリアパス開発

コミュニケーション・
プレゼンテーション能力

科目:コミュニケーションスキル演習(1単位)

短期海外派遣研修 2026~

海外インターンシップ 2030~

科目:ジョブ型研究インターンシップ(2単位)

ジョブ型研究インターンシップ

科目:実学コラボレーション演習(2単位)

文理融合組織「研究クラスター・コア」におけるコンピテンシーの育成

科目:博士リテラシー(2単位)

研究シーズ発表会

アントレプレナーシップ教育

中小企業見学会

高度デジタルスキル

院生サミット

【ポータビリティの確保】

選抜学生には、原則として既存の指導教員・副指導教員体制に加えて、「研究クラスター・コア」の教員のメンタリングにより、専門領域にとらわれない広い視野を涵養させる。さらに、選抜学生からの希望に応じて、メンター教員の研究室への異動や、海外・他大学への活動等に関するポータビリティが確保される。

「研究クラスター・コア」とは

- オープンイノベーションのプラットフォームとなる文理融合組織
- 学際的研究領域(マルチディシプリナリー)として、5つ研究分野(クラスター:①未来社会・未来技術((Society5.0の社会実装)),②次世代の食と植、③環境・エネルギー・再生、④健康・長寿・発達、⑤知の創造)を設定
- 各研究クラスターに、15学部・12研究科・附置研究所等の研究者が部局を超えて全学横断型の共同研究を推進する集合体である研究プロジェクト(コア)を形成して、先進的な研究成果をあげます。是非、近畿大学とともに、自前主義的なイノベーションから、オープンイノベーションの持続的創出に挑戦して下さい。

オープンイノベーションの創成を目指した全学横断型研究プロジェクト(研究クラスター) ~産学連携・産学協働の深化~

近畿大学は大学ガバナンスのもとで、産学連携や産学協働の深化によるイノベーション創成を進めています。

その取り組みの基盤となるために、近畿大学では学際的研究領域として5つ研究分野(クラスター)を設定しました。各研究クラスターでは、15学部49学科・附属研究所のあらゆる学問分野で活躍する研究者が部局を超えて全学横断型の共同研究を推進する集合体である研究プロジェクト(コア)を形成して、先進的な研究成果をあげます。是非、近畿大学とともに、自前主義的なイノベーションから、オープンイノベーションの持続的創出に挑戦して下さい。

5つの研究分野(クラスター)

1. 「未来社会・未来技術 (Society5.0の社会実装) 」
2. 「次世代の食と植」
3. 「環境・エネルギー・再生」
4. 「健康・長寿・発達」
5. 「知の創造」

企業の皆様へ(産学連携について)



コンピテンシー:優れた成果を創出する個人の能力・行動特性のこと

(2)近畿大学SPRINGプロジェクトについて

②選抜学生が受講するキャリア開発・育成コンテンツの特徴3

コンピテンシー:トランスファブルスキル(移転可能なスキル)とは

特に博士課程の学生については、大学等の研究者としてチームでのプロジェクト型研究や学際的研究など新しい研究スタイルに対応していくためのスキルであることだけでなく、企業等のアカデミア以外の場でも活躍できるためのスキルとされており、幅広い職業選択の機会を確保する上でも重要とされている。

「欧州科学財団(European Science Foundation)の報告書“Research Careers in Europe Landscape and Horizons”では、「1つの文脈で学んだスキル、例えば、研究を行う上で学んだスキルの中で、他の状況、例えば、研究であれ、ビジネスであれ、今後の就職先において有効に活用できるようなスキルのことである。そしてまた、トランスファラブルスキルがあれば、学問領域及び研究関連のスキルを効果的に応用したり、開発したりすることができるようになる」と定義されている。

具体的には、

【研究に関するスキル】

研究方法などの理論的知識、情報検索能力、分析力、批判的思考、問題解決能力、探求心、イノベーション

【個人の能力】

自信、責任感、準備と優先順位、ワークライフバランス、時間管理能、キャリアマネジメント、専門性の向上の継続

【研究ガバナンスと組織】

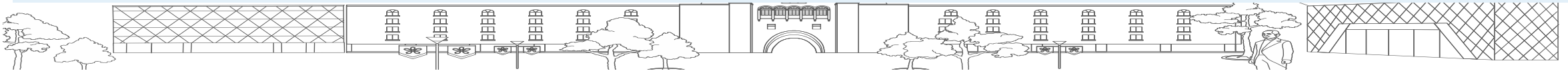
健康と安全、倫理、道義と持続可能性、知的財産権と著作権、研究戦略、リスクマネジメント、資金管理、資金源の創出

【関わり合い、影響、インパクト】

チームワーキング、リーダーシップ、コミュニケーション能力、出版、一般市民との関わり、起業

※出典:

https://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2013/12/20/1336658_017.pdf



(2)近畿大学SPRINGプロジェクトについて

必ず以下のURLにアクセスして、熟読してください。

(1)JST・SPRINGについて:

<https://www.jst.go.jp/jisedai/spring/index.html>

(2)文部科学省・博士人材活用プラン

www.mext.go.jp/content/20240326-mxt_kiban03-000034860_1.pdf

(3)文部科学省・博士人材の民間企業での活躍促進について(以下3つのpdf)

1. 博士人材の民間企業における活躍促進にむけたガイドブック
2. 企業で活躍する博士人材ロールモデル事例集
3. 博士人材ファクトブック

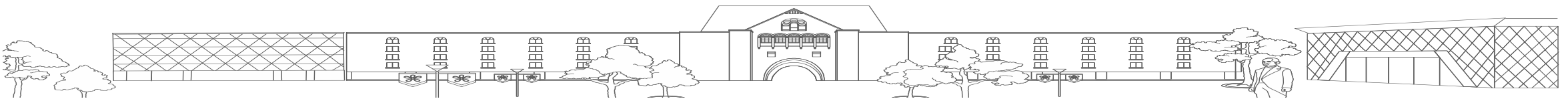
https://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/1357901_00015.htm

(4)ジョブ型研究インターンシップについて:

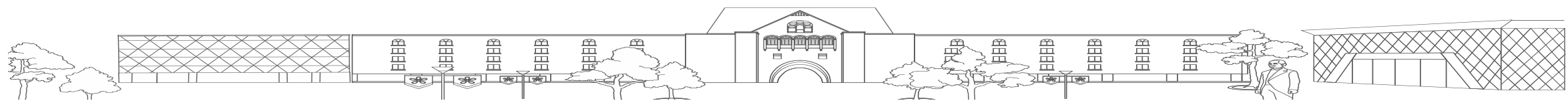
<https://coopj-intern.com/internship>

(5)トランスファブルスキルとしての「研究者のためのリーダーシップ入門」について:

<https://www.jst.go.jp/innov-jinzai/sekai/career/resource/vitaeguide.htm>



近畿大学大学院で、自分の可能性にチャレンジすることで、地域創生から国際社会まで広く世の中に貢献できる博士人材として、社会で活躍してください。



(2)近畿大学SPRINGプロジェクトについて

②選抜学生が受講するキャリア開発・育成コンテンツの特徴3

キャリア開発・育成コンテンツ 授業科目	開講年度	受講可能コンテンツ	コンテンツ 受講可能年度	令和7年度選抜学生の 支援と責務	令和8年度受講可能な 対象学生
コミュニケーションスキル演習 (1単位)	令和8(2026)	短期海外派遣制度 海外インターンシップ	令和8(2026) 令和12(2030)	令和7年度選抜学生は、海外提携 大学とのオンライン対応で受講可 能(単位認定無)	令和7年度選抜学生 令和8年度選抜学生
ジョブ型研究インターンシップ (2単位)	令和7(2025)	ジョブ型研究インターンシップ	令和7(2025)	令和7年度選抜学生は受講可能 (入学年度に基づき単位認定有)	令和7年度選抜学生 令和8年度選抜学生
実学コラボレーション演習 (2単位)	令和8(2026)	文理融合組織「研究クラスター・コア」 におけるコンピテンシーの育成	令和7(2025)	令和7年度選抜学生は受講可能 (単位認定無)	令和7年度選抜学生 令和8年度選抜学生
博士リテラシー (2単位)	令和8(2026)	研究シーズ発表会	令和8(2026)	令和7年度選抜学生は、発表会に おけるプレゼンテーションは実施 できないが、参加して産業界と直 接コミュニケーション機会を得るこ とを奨励(単位認定無)	令和7年度選抜学生 令和8年度選抜学生
		アントレプレナーシップ教育	令和7(2025)	令和7年度選抜学生は、オンデマン ド講義を聴講可能(単位認定無)	令和7年度選抜学生 令和8年度選抜学生
		中小企業見学会	令和7(2025)	令和7年度選抜学生は、限定され た中小企業見学可能(単位認定無)	令和7年度選抜学生 令和8年度選抜学生
		高度デジタルスキル	令和8(2026)	令和7年度選抜学生は、オンデマン ド講義を聴講可能(単位認定無)	令和7年度選抜学生 令和8年度選抜学生
		院生サミット	令和7(2025)	令和7年度選抜学生は、プレゼン テーション実施可能(単位認定無)	令和7年度選抜学生 令和8年度選抜学生

